



菅政権が、安倍政権の「全面継承」を掲げてスタートしました。早くも危険な強権的姿をあらわにしています。

学問の自由を抑圧

日本学術会議への政治介入

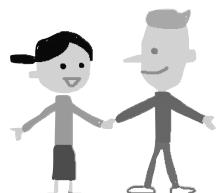
日本学術会議が推薦した委員の任命を菅首相が拒否しました。前例のない、学問の自由への侵害です。学術会議は独立して職務を行い、政府への提言も行う機関です。そのためには、構成員が学問的・思想的に多様であることが不可欠です。学術会議への露骨な政治介入は、学問の自由を抑圧し、よりよい政策提案を行う環境が損なうことにつながります。



新基地ごり押しも

基地と振興は「リンク」!?

菅政権は、沖縄県民の意志を踏みにじり、新たな米軍基地建設をごり押ししようとしています。菅首相は前政権時代から、辺野古新基地建設の旗振り役でした。首相就任後、基地と振興は「リンクしている」と述べ、金と引き換えに基地を押し付ける露骨な「アメとムチ」を持ち込もうとしています。



「戦争する国づくり」への批判封じ根本に

「敵基地攻撃」軍拡推進と一体

戦前も学問・言論の自由への抑圧が戦争への道を開きました。日本学術会議人事への介入も、安保法制（戦争法）に反対する研究者や、軍事研究に非協力的な学術会議を抑え込むねらいがあります。その菅政権が進めているのが、「専守防衛」を投げ捨て、米国と共に他国へ先制攻撃する敵基地攻撃能力保有と大軍拡です。この動きを止めるため、「辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去」、「憲法9条生かせ」を求める署名にご協力ください。

辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求める署名にご協力を！

日本平和委員会

2020年10月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277